



志之抄



祖翁山苗忌り登峰りてあはれ
定ぬまの神皇月申の二日しり
り婦や此宮椿川は高松もあ
しはらぬら湖の面々もあ
あはれぬまの神皇月申の二日しり
り婦や此宮椿川は高松もあ
しはらぬら湖の面々もあ
あはれぬまの神皇月申の二日しり
り婦や此宮椿川は高松もあ
しはらぬら湖の面々もあ

名乃月形ふ照ふる中ちん子と

松笙

笛ゆきふし出ふ舟と

鯉丈

ウ
きり加敷き子乃肩の底と

青岬

幾世さしき乳し重屏乃鶴

落州

祐家町や油と川といきり

班布

而ともふれき子とてく

鯉遊

魁一衣と世とくと小篠系

冬柱

賣き乳魚乃洲如之川

菊二

明星名茶巻と月乃村と

巨洲

埃まきれ乃秋入名中

荷渾

川、村といし給ぬる中と重とく

重厚

伯母名あふぬ、垣越し噴

白魚

志古名岨乃と川と水乃あふ

梅下

越後へ系しうた上の風

塘雨

六乃吹き起し乃重とく明とく

琵琶

髪もきりぬれあふ三月

槿馬

二
こそくくと結了黄ばふ鏡りる二 露光
若 祈少氣 大者 優子 詠つま 雨篁

下畧

四来奉納發句

一くもや 湖乃 西有 影日南 日向宮吟 可也
志々地々了 抄多々夕日とあうり 我樂

とくしほくき。 嘯々梨小 扱一これ 遊水
一くもや 雀一山 寺分 休乃才 一蝶吟 五明
湖や一 出河一 流時 响 喜氣 筑前福岡 蝶醉
舟 借く 山 歌 詠 不 志 之 物 耶 波 鳴
古 更く 者 更や 妙 光く 神一 氣 雨 銘
如 此く 入 不 二 日 乃 月 也 初 夜 雨 魯 白
奇く 勢 也 尤 如 了 か ち 氣 各 山 乃 色 女 月 湖
張り 結 ち けく 一 婦 乃 寺 以 一 之 物 植木

——くもや力強きうぬき地はかきこ
關桂

起乃きき 海空き飛くや沙志れ
一軒

藪陰も 陣と如多し夕暮き
青容

菜瓜あゝぬ糸く色まのしつれど
杜由

茫然と 穴狐まのふや時雨乃日
彩石

影法師を 朽くけきや小夜時雨
牛馬

西く 赤ん坊にもまこんこ乃荒
梅園

入く、乃月まの如影——くぬぐ
弄花

島くも加くく通ふ液雨ど
蘭亭

ワらん 魚を食まわくく似るる 平風う形
以山

市く 散ふ人く細くゆ——くれど
公夢

時雨しきや 雪にも物くむ夕けし
白許

——くもや 空を及くくしる長瀬
李夕

志く 積もく木乃 美の 志き 鹿川に
古聲

うきうきや 杉乃 尖り—— 空乃月
魚潜

枝村も 刺毛の かつりや夕しれ
如硯

老後抄集

、府内

、高田

、阿波徳島

、佐神塔

、瀬田大野

、土佐才村

、備前笠原

、備後田房

、播磨宍粟

あけき記名連くう春あふ志くれが 立季

美狭見

川牛乃 斤角ゆきくくくくくく 花雪

但馬豊岡

鈴くくれ喜物店名色さくくく 木卯

胡志くく 戸あけくくくくくく 翠樹

朝霞 海く桑出ふ 日かひくく 柳飛

あきくくくれくく水乃 水乃くくくく 十城

鈴志くく 大根く桑名あきくくく 牛子

朝くくくれ火も 焚付く 柴才名庵 湖坊

阿さあくれ馬乃 立娘ゆきくくく 野牛

胡鐘礼新語くくくくくく 雪枝

あきくくく 禮 庭に名桑乃 起もくく 盤風

ゆきゆきくく 庭 名ゆきくく 夕くく 涼秀

くくくく 名ゆきくく 名乃 志くくく 佳陰

くくく 名ゆきくく 名乃 何くくく 雲岫

傘 提くく 名ゆきく 名乃 朝し氣 其峯

眺 也ふ 名ゆきく 名乃 朝し氣 系化

葉付もかくや 志くれん 舟の口 長徳堂井 君里

さくさく乃 時雨そ 並つしとん 脩久

芭蕉もや 琴も 度々 志くれん 文固

ををを 多々 暮る 乃 西風 那 花強山 希母

さひー さと 忍く 暮る や 初荒 其川

くく や 帆柱 志く 乃 浦 法功 敬道

山 舟乃 傲を 志く 乃 夜荒 木夫

木古の 柳乃 志く や 夕一 乃 耳注

待り以 志く 乃 夜荒 乃 志く 乃 志く 乃 税士

門 番 乃 時き 乃 乃 小夜 志く 乃 枝法

鉢 尻 乃 志く 乃 乃 乃 乃 乃 乃 古曉

矢 背 乃 志く 乃 乃 乃 乃 乃 乃 志朝

志く 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 首翁

時 雨 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 渡喬

さく 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 煮卿

くく や 暮る 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 思明

吹入て 落葉。上乃 鐘乳孔 荷裳

——くもや 糸葉乃 世のくちくち 杖流

夕——くれ 静了 牛追不 冠若く 楚山

あ——く被 登是 楓を 色深ん 和若

水山乃 家名 果うや 船——くれ 巴涼

扉に 月を 出ぬ——て 水——れ 米士

如 水く 暮る人 不 龜多 北——く被 河村

——くもや 井伐く 形不 藪乃 中 堂三

朽り——ろふ 银杏 ちふ あり 村志れ 用舟

出乃 上 不 果と あり——く被 吾東

——くもや 枯——尾 系 不 亭 鯉風

音 不 免——枯も 立々 初——くれ 可磨

本 ちり乃 柳——口 けや 水 附尾

空 川 ちくく 暮る 空も 志 是 以 初 時 雨 秋鳥

牛 乃 背 了 不 善 ちり 夕——くれ 三敲

以——田 ち ちくく 赤く 以 北——く被 簀山

しるしと志す飛脚見事な焼火孔 麥宇

枯系了ふくく物家しる種ぶ 尾全

色くく中せつる終まや園乃兼 琴之

しるれ言や元にも志す月の日 宜石

晴こいと舌もいふなり時西、那 早甫

照とこ流 足れ義もあき、荒れれ 宝馬

山力やまの、志す種く入口る 巖月

松了れく 嘆きまゝなり夜雨れ 西湖

しるれおや一とれつ竹乃音 琴桃

座よりいへく礎乃木の葉や終れれ 雨沖

志すくとも月夜歌よきまゝしるれ 芦水

着くあ歌 葉もまゝく荒れ 師由

しるししるれ麦田乃古者まゝの歌 里秋

志く歌やま東乃陰あふ人おゝ急 眠蝶

しる孫者 簾くもまゝの歌也神歌 稻秀

出く喰く 姫子言まきくしるれ 馬瓢

想ししれふや枯野孤くけ先言 嵯峨 重厚

ししやほろく山は推乃ふ 石山 梅下

下り口く于あまのたや神しれ 湖南 魯江

及橋やかえり日乃きれ想ししれ 巨樹

ししや山と日裏乃きれ以歌 松篁

志くや今造りきれ庭乃松 御丈

ししや危くきれへふつ有 青岬

芦系乃中流とさふ時多うれ 菖蒲

出今あささく力とく先乃志くれふ 冬柱

神しれ人を踏くし十ふ架 菊二

正月乃百や月しきれ一しれ 鯉遊

きりしりもきさる雲乃とくくさ 路弓

着忌乃とやちくせなま川しれ 忠二

尺乃れくちく馬以くや夕しれ 露光

松系乃詠きれ尺く志くれ那 班布

ししや瘦きれ牛の夢の境 雨笠

日乃影へも〜ア〜きり〜
五浮

川の元へ〜物乃さ〜る〜
得皮

き〜〜
栗伴 應澄

手向〜
度水

〜
如態

時雨〜
而来

〜
落州

重月を〜
新端

雨乃偏〜
傍の昔々

志々神〜
蝶後

幻位座の舊説國々山乃道の志々〜
蝶乃神の異名と〜人乃枝乃の志乃〜
〜
石山の石乃〜
〜
〜

草か〜
道

小春〜
梅

